

# 【公立河北中央病院 移転新築について】



## ～病院詳細～

名称：公立河北中央病院  
所在地：石川県河北郡津幡町津幡口51番地2  
開設者：津幡町長 矢田 富郎  
病院長：川口 和紀  
許可病床数：60床  
診療科：内科、眼科、整形外科、心臓血管外科  
外科、乳腺外来、婦人科、泌尿器科  
皮膚科、脳神経外科、健診科

## ～建物詳細～

建設年：本館 H4.3月建設  
管理棟 S51.9月建設  
構造：本館 鉄筋コンクリート造5階建て一部地階  
管理棟 鉄筋コンクリート造3階建て  
延床面積：6,002.47㎡  
敷地面積：8,091㎡ (0.8ha)  
(内訳) 5,607.86㎡ (建物敷地)  
2,483.14㎡ (駐車場敷地)

## ～移転新築の背景～

1951年（昭和26年）の開設以来、津幡町唯一の一般急性期病院として地域医療の中核を担ってきました。現在は、急性期治療後の「ポストアキュート」や在宅患者の緊急受入れを行う「サブアキュート」機能を強化し、地域医療の結節点としての役割を一層高めています。経営面では、これまでの改革プランを着実に実行してきた結果、2018年度（平成30年度）以降、経常黒字を継続して確保しており、公立病院として安定した経営基盤を築いています。この安定した財務基盤を背景に、将来にわたり質の高い医療を持続的に提供していくため、建替えを決定しました。

また、現敷地は狭隘であり、医療DXの推進や十分な駐車場の確保、将来的な機能拡張に必要なスペースの確保が困難であることから、別敷地での移転新築を決定したものです。

## ～建設地～

新病院の建設地としては、津幡町役場に隣接する津幡中央公園（津幡町字横浜地内）としました。当該用地は現病院と同一地区に位置し、役場および消防署に近接していることから、災害時には指揮命令系統や救急活動との連携が極めて図りやすい立地条件を備えています。また、行政機能との医療機能を近接して配置することにより、町の中核拠点としての一体的かつ持続可能なまちづくりが期待できます。

## ～津幡中央公園～

都市公園（近隣公園）  
面積 1.5ha  
供用開始 S49.7月9日



## ～位置関係～

